

問1 香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年

埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。 | 2. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。 | 3. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。 | 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。 |
|--|---|---|---|

問2 北関東3県（茨城県、栃木県、群馬県）の県庁所在地について述べた文として、茨城県の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年

岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 関東地方の中南部に位置する千葉市に県庁が置かれている。 | 2. 関東地方の内陸部に位置する宇都宮市に県庁が置かれている。 | 3. 関東地方の北東部に位置する水戸市に県庁が置かれている。 | 4. 関東地方の北西部に位置する前橋市に県庁が置かれている。 |
|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|

問3 関東地方に位置し、太平洋側に突き出た半島状の地形を持つある県では、果実の産出額が約854億円に達しています。果実の産出額が多い県には、りんごで有名な青森県やさくらんぼで有名な山形県もありますが、首都圏への供給を主眼に置いた近郊農業が特色であるこの県はどこですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 山形県 | 3. 青森県 | 4. 千葉県 |
|--------|--------|--------|--------|

問4 神奈川県逗子市の地域調査において、逗子駅から出発して南へ進み、逗子銀座商店街を抜けた先にある田越川を渡って海岸へ向かう計画を立てました。このとき、田越川に架かる「東郷橋」を渡った先に位置する、相模湾に面したレジャーに適した場所の名称を答えなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|---------|---------|
| 1. 逗子海水浴場 | 2. 江の島 | 3. 三浦海岸 | 4. 由比ヶ浜 |
|-----------|--------|---------|---------|

問5 茨城県ひたちなか市の阿字ヶ浦駅から観光地に向けて計画されている「交通網の整備」に関する説明として、地域の活性化や利用者の視点から述べたものとして最も適切なものはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 環境保護のために鉄道の運行本数を半分に減らし、駅から観光地までは徒歩での移動を義務付けることで、健康増進を図る。 | 2. 鉄道利用者を減らすためにバスの運賃を大幅に値下げし、公共交通機関同士の競争を促すことでサービスの質を高める。 | 3. 鉄道の延伸によって目的地までのシームレスな移動が可能になり、観光客の増加や地域の利便性の向上が期待されている。 | 4. 新駅の建設を中止し、代わりに駅周辺に巨大な駐車場を整備することで、観光地周辺のすべての交通を自家用車中心に切り替える。 |
|---|---|--|--|

問6 茨城県における農業の特徴を説明した次の文のうち、その背景や実態について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 広大な平野を利用し、機械化を進めることで、主にごぼうなどの根菜類を大規模に輸出している。 | 2. 夏の冷涼な気候を利用して、レタスなどの高原野菜を都市部に向けて出荷している。 | 3. 冬の温暖な気候を活かし、きゅうりなどの収穫時期を通常より早める促成栽培が中心である。 | 4. 施設栽培によりピーマンなどを年間通して生産し、東京までの輸送利便性を活かして出荷している。 |
|---|---|---|--|

問7 茨城県の産業の特色について、地形的条件と消費地へのアクセスの観点から述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 険しい山地が多いため、斜面を利用した果実の栽培が中心であり、内陸部の工業団地から出荷される電子部品などの製造品出荷額が全国有数である。 | 2. 広大な平地を利用した稲作が農業の大部分を占めており、製造業よりも農業に特化した産業構造を持つため、製造品出荷額は近隣県に比べて低い。 | 3. 平地が多く山地面積が比較的小さいため、広大な土地を利用して首都圏などの大消費地に向けた野菜を栽培する近郊農業が盛んであり、製造品出荷額も極めて高い。 | 4. 沿岸部の平地が限られているため、複雑な海岸線を利用した養殖業が盛んであり、製造品出荷額の大部分を食料品加工業が占めている。 |
|--|---|---|--|

問8 関東地方の農業統計によると、茨城県はピーマン、ほうれん草、はくさい、レタスといった野菜の生産において全国でも有数の規模を誇っています。この地域で野菜生産が盛んになった理由として、地理的な背景と流通の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 土地価格が非常に安く、広大な農地を確保して穀物生産に特化することが容易だったから。 | 2. 冬でも温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早める工夫をしているから。 | 3. 大消費地までの距離が近いと、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。 | 4. 標高の高い地域が多く、夏でも涼しい気候を利用して他の地域より遅い時期に出荷できるから。 |
|--|---|--|--|

問9 1700年ごろ（18世紀初頭）の日本における田と畑の面積の状況について、全国的な傾向と地域的な特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 全国のすべての地方において、主食である米を生産するための田の面積が畑の面積を上回っていた。 | 2. 近畿地方や中国・四国地方では、商品作物の栽培が盛んになったことで、畑の面積が田を大幅に超えていた。 | 3. 九州地方は火山灰地の広がりにより、全国で唯一、畑の面積が田の面積を上回る地域となっていた。 | 4. 日本全体では田の面積が畑を上回っているが、関東地方では畑の面積の方が田の面積よりも広がった。 |
|--|--|--|---|

問10 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため | 2. 政治や経済の中枢機能が集中し、就業や通学の機会が多いため | 3. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため | 4. 豊かな自然環境を求めて、老年人口の転入が急増しているため |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問11 都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。 | 2. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。 | 3. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人々が帰宅してくる居住機能が中心である。 | 4. 地価が安いと、中心部に住居を構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。 |
|--|---|---|---|